学校番号	3001

令和２年度　環境緑化科

教科	農業	科目	環境緑化材料	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「環境緑化材料」　（文部科学省）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公園、街路樹、家の個人庭園などの普段生活している場面で目にする都市の緑化を授業を通して注目してみましょう。環境緑化のための植物育成や造園空間に使用する材料について必要な知識と技術を学びましょう。

２　学習の到達目標

環境緑化のための植物の育成や造園の構成に使用する材料について必要な知識と技術を習得させ、環境緑化の特性を理解させるとともに、材料を適切に取り扱い、活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	環境緑化の現状や今日的な課題などについて関心を持っている。環境緑化材料の栽培、加工や利用を体験することにより、環境緑化に対する意欲をもっている。	造園を中心として環境創造と素材生産分野における自らの職業生活について判断・表現している。	造園空間の周囲の状況や地域環境の状況に応じた種類や特性、植物材料に関する技能を習得している。	多様化する材料について、体験的、継続的な観察、調査、記録などの学習を通して、成長、変化する植物を扱う造園の特質を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 実習ノート 自己評価等	学習状況の観察 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	造園樹木	造園樹木とは何か 造園樹木の種類について 造園樹木の特徴 造園樹木の寸法規格 育成・繁殖方法について 苗木の育成管理など	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:実習庭園や公園などの具体的な事例を通して関心を持っている。 b:主な植物材料の形態的な特性や生理・生態的な特性を判断・表現している。 c:造園空間の目的や地域に応じた植物材料の取り扱いと育成に関する知識と技能を習得している。 d:観察、実習を通して造園空間を構成するために必要な植物材料の特性を理解している。	学習状況 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価
2学期	地被植物 (つる性植物) (コケ類・シダ類)	地被植物の種類 地被植物の特性 主な地被植物	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 実習庭園や公園などの具体的な事例を通して関心を持っている。 b:地被植物の特性を生かした材料選定が重要であることを判断・表現している。 c: 造園空間の目的や地域環境に応じた地被植物の選択、取り扱い、育成及び繁殖に関する知識と技能を習得している。 d:主な地被植物の形態的な特徴や生理・生態的な特徴を理解している。	学習状況 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価
3学期	花壇用草花	花壇と草花の役割 花壇の利用 花壇の種類 室内空間の緑化	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:花壇用草花の種類・特性及び育成について関心を持っている。 b:生活環境の改善や整備など人間の要求を満足させる空間を創出するために、周囲の環境や目的に応じ判断・表現している。 c:造園空間の目的や地球環境に応じた花壇用草花の選択、取り扱い、育成及び繁殖に関する知識と技能を習得している。 d:主な花壇用草花の形態的な特性や生理・生態的な特性を理解している。	学習状況 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。